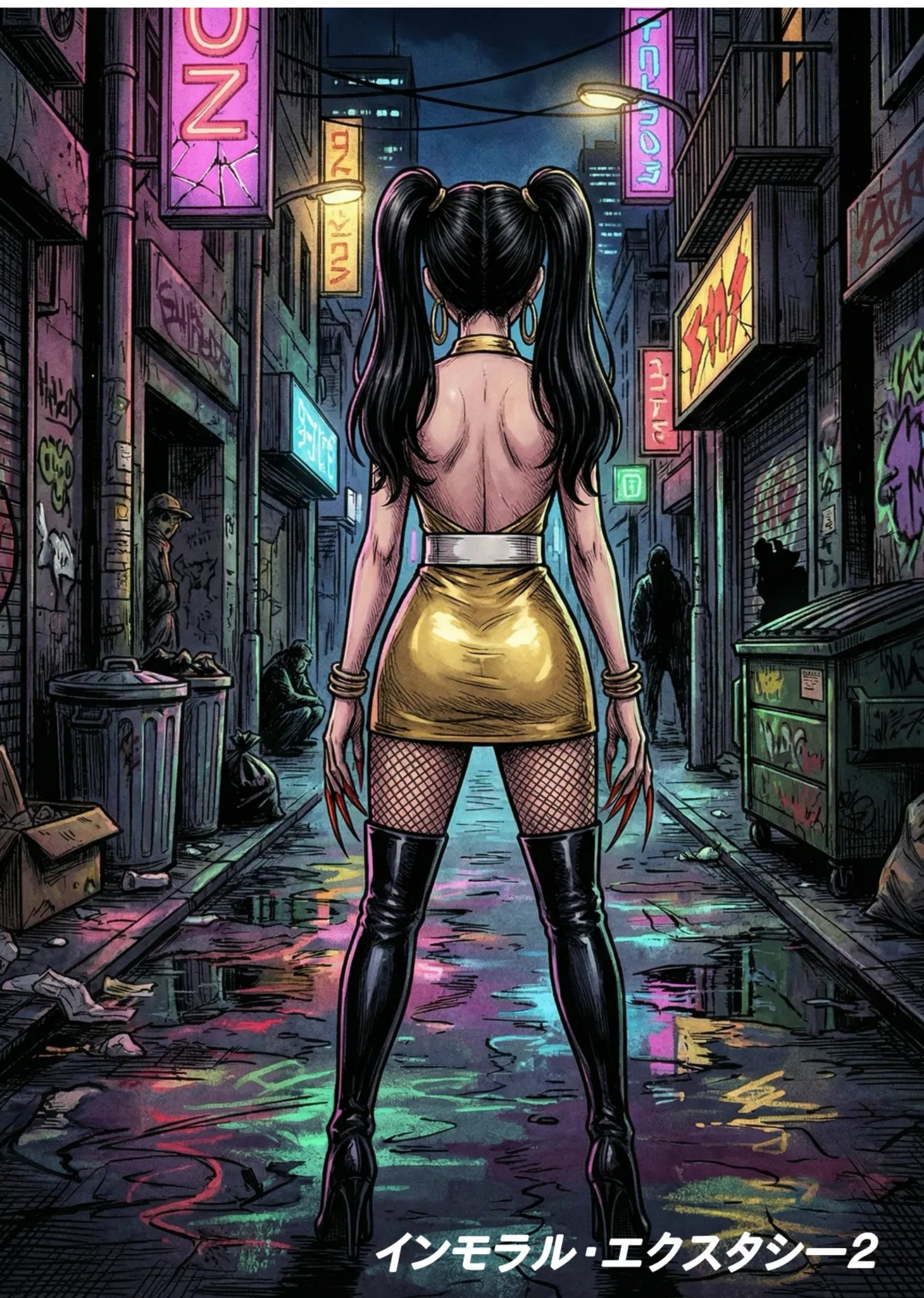


IMMORAL EXTACY

インモラル・エクスタシー 2





インモラル・エクスタシー2

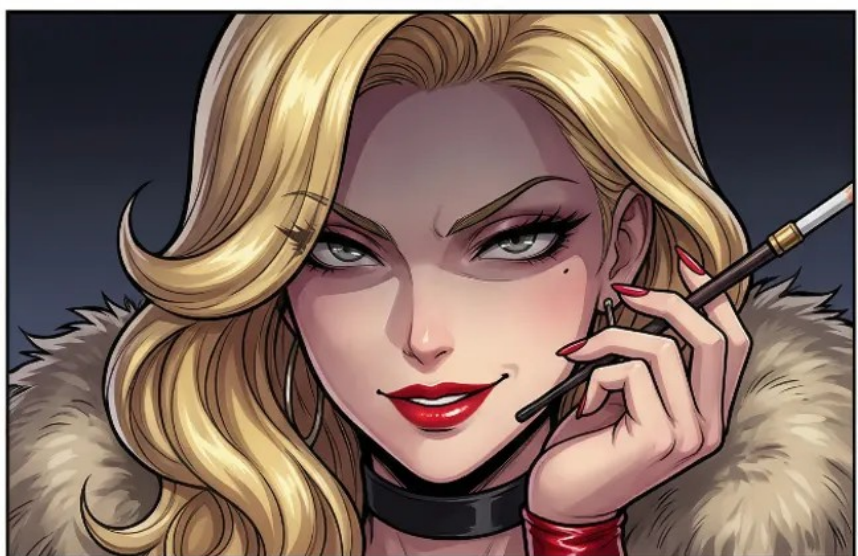
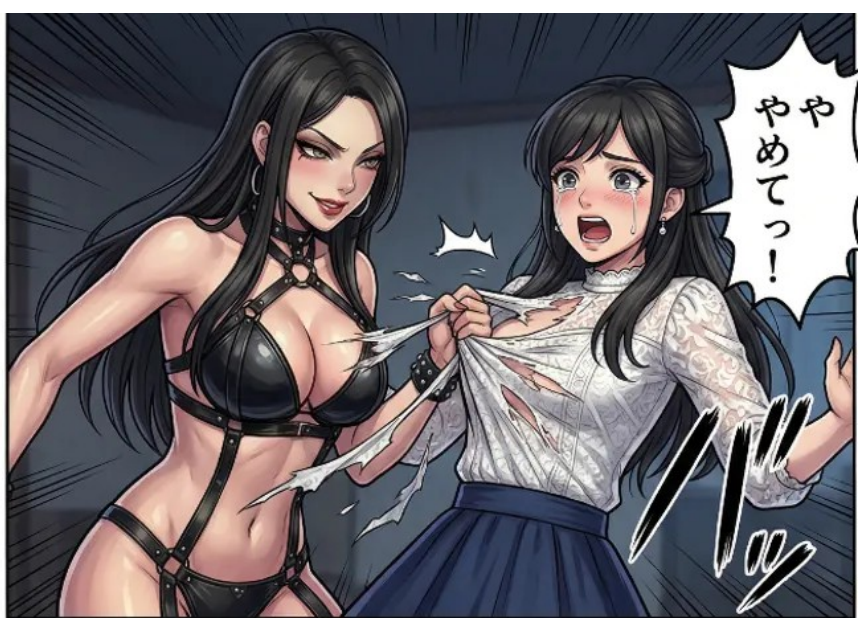
前回までのあらすじ

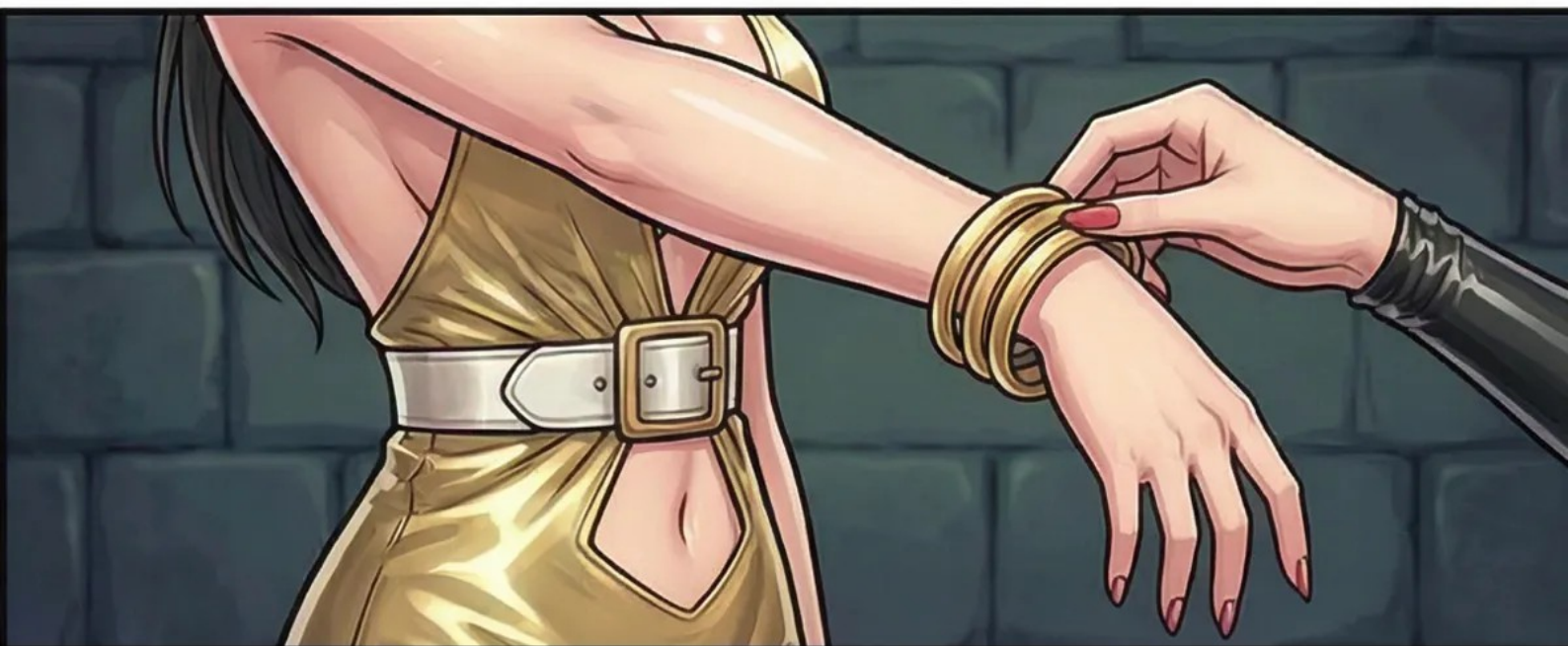
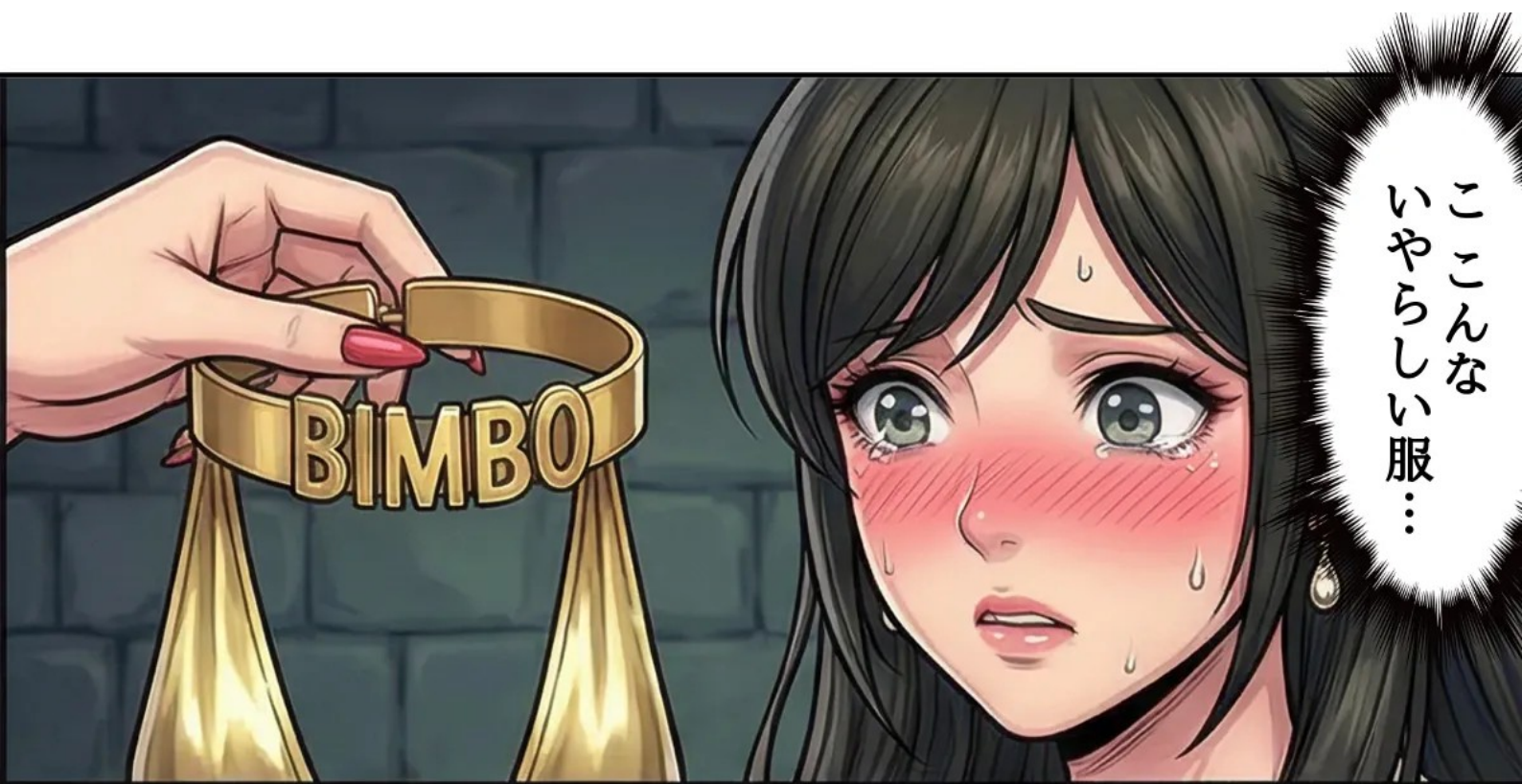
犯罪組織ルーラーズに牛耳られてしまった
ウルグシティ。思うがままに暴力を振るい
快楽を貪るルーラーズによって 住民たちは
怯えながら暮らす日々を送っていた。

街に住む青年コウが姉の様に慕う 強く
優しき女性のカエラ。そんな彼女が
ルーラーズ幹部モーリーによって魔薬
『インモラル・エクスタシー』を打たれて
しまい ルーラーズの一員と化してしまう。
そして身も心も悪女と化したカエラの手に
よってコウの幼馴染の少女ミーナが
捕らわれてしまう。

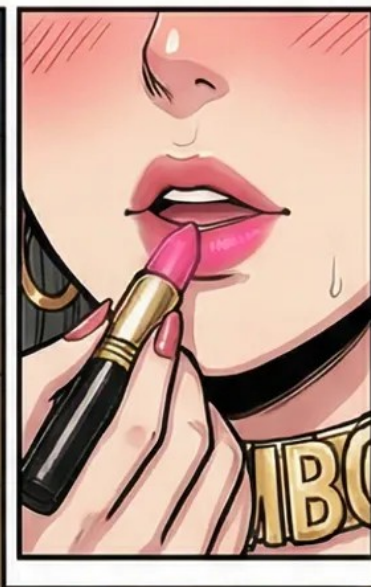
ミーナがルーラーズの幹部であるマリィの
元に居ると推察したコウは女警官レイと共に
マリィのアジトへと向かう。そこで出会った
ビビアンもまた『インモラル・エクスタシー』に
よって精神を邪悪に歪められた被害者であった。
かつてはフィリーという善良な女性であった
ビビアンはルーラーズの構成員たちを従え
コウたちに襲い掛かるのであった。

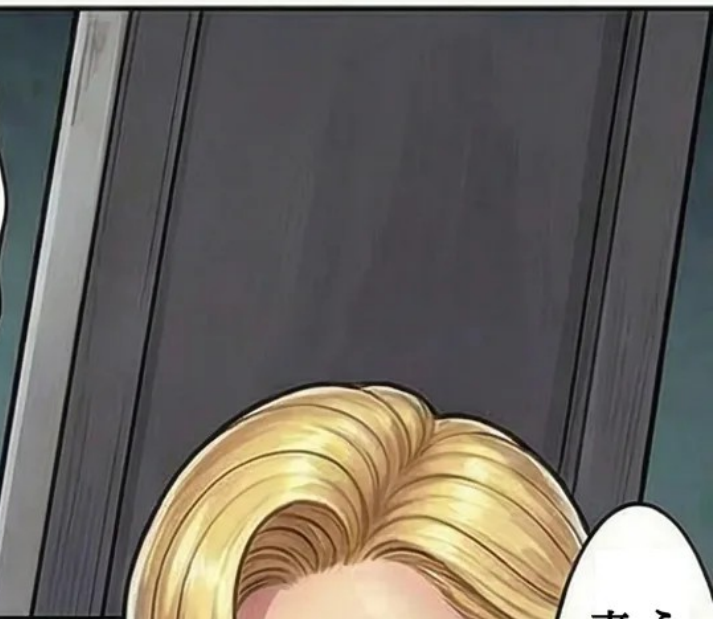














身体が…
熱い…!!



いやよ…
そんな風になんて
ならないわ…!!



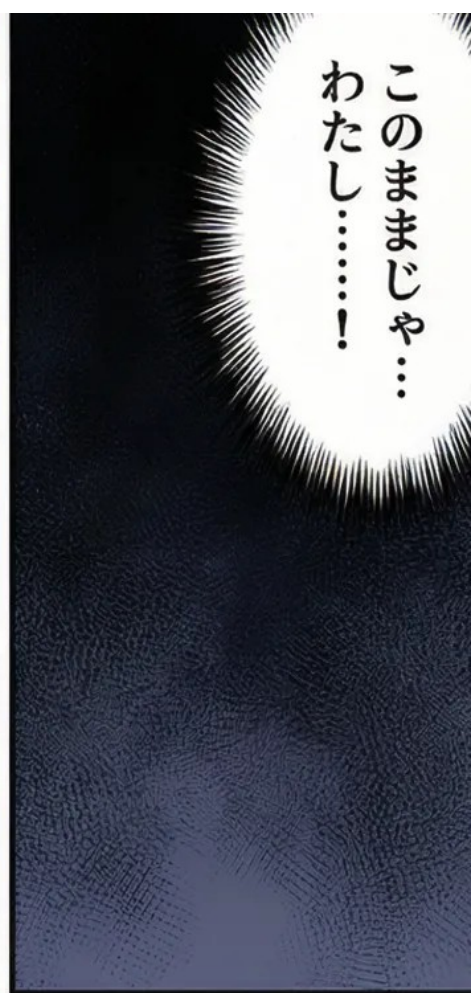
そんな事いいながら
そのいやらしい姿に
興奮しているんですよ



コウ…お願い…
助けて…!!



『インモラルエクスタシー』を
もう一本打ってあげる
それですらない
道徳観や倫理観は
すべて消え去るわ



このままじゃ…
わたし……!!

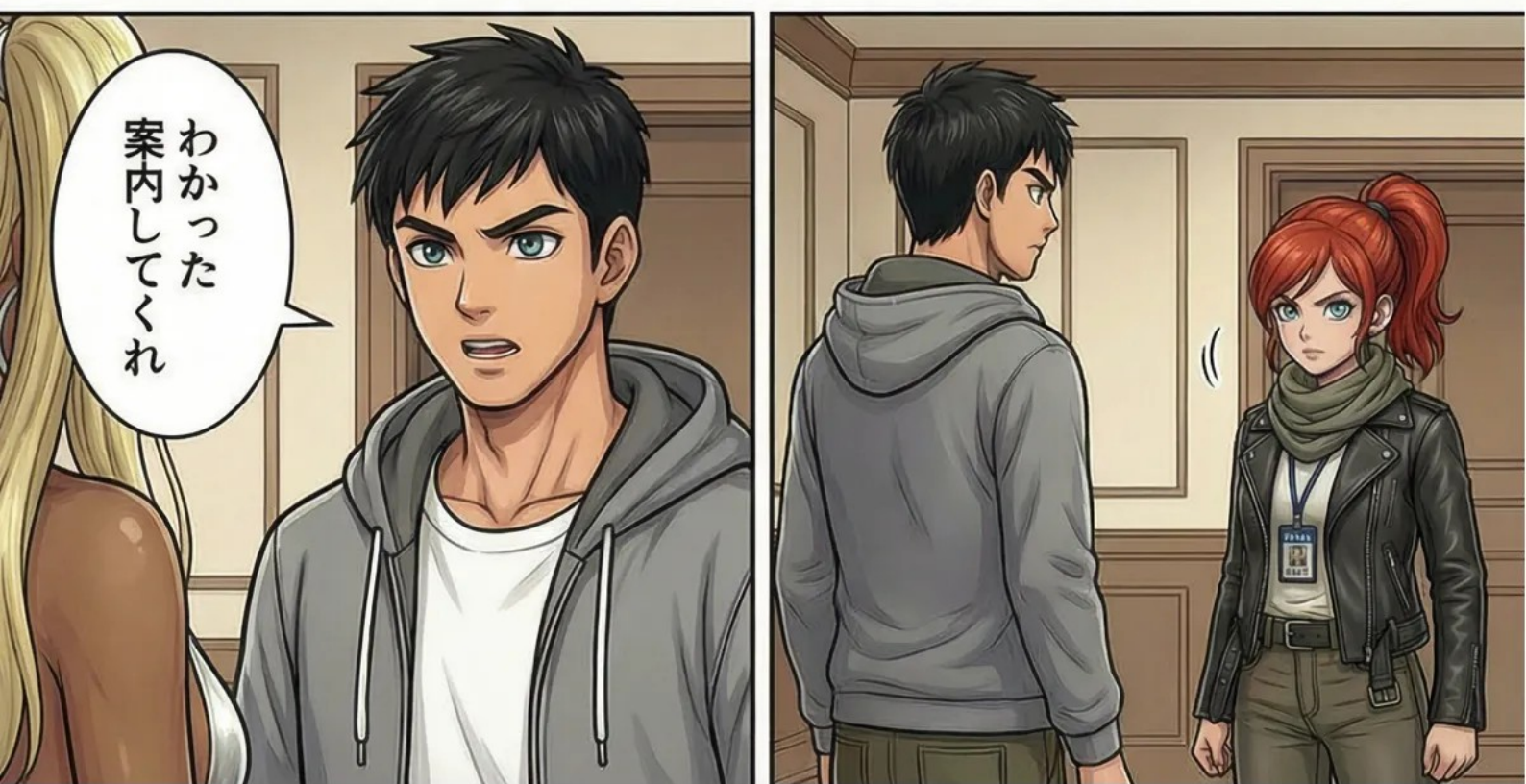


フリーーさん
観念しなさい



へえ
やるじゃないの

あなた達を
みくびっていたわ









あらビビアン
お客様かしら？



ミーナ！



はいこの娘の
知り合いとか…

へえ
アイヴィの
知り合い？



起きなさい
アイヴィ

はい
マリイ様



アイヴィ？
何言ってるんだ！
この娘はミーナだ！

お前ミーナに
何をした!?



ミーナっ！
オレだ…！
コウだ！



マリイ様…
わたしにもっと…
もっしてください…



うふふ…何を
言ってるのかしら
ねえアイヴィ…

え…
わ…わたしは…



え…
コウ…？

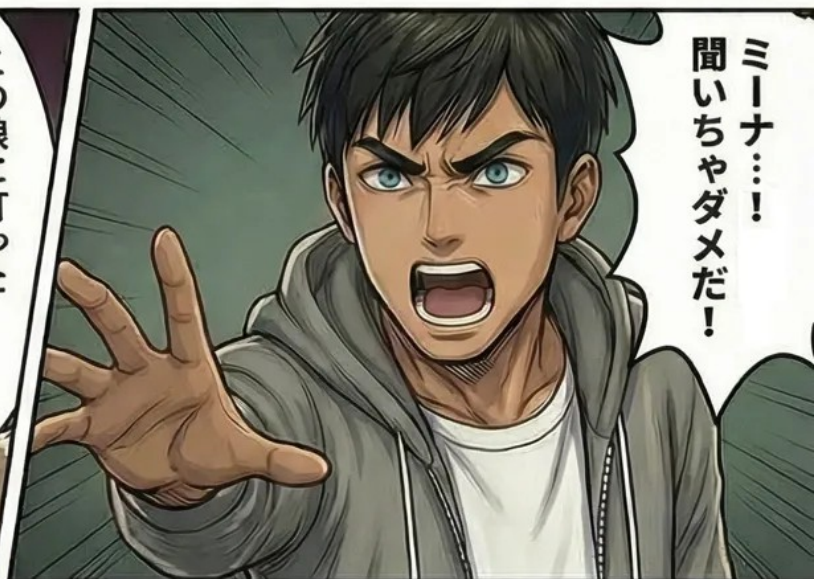


ママリイ様…

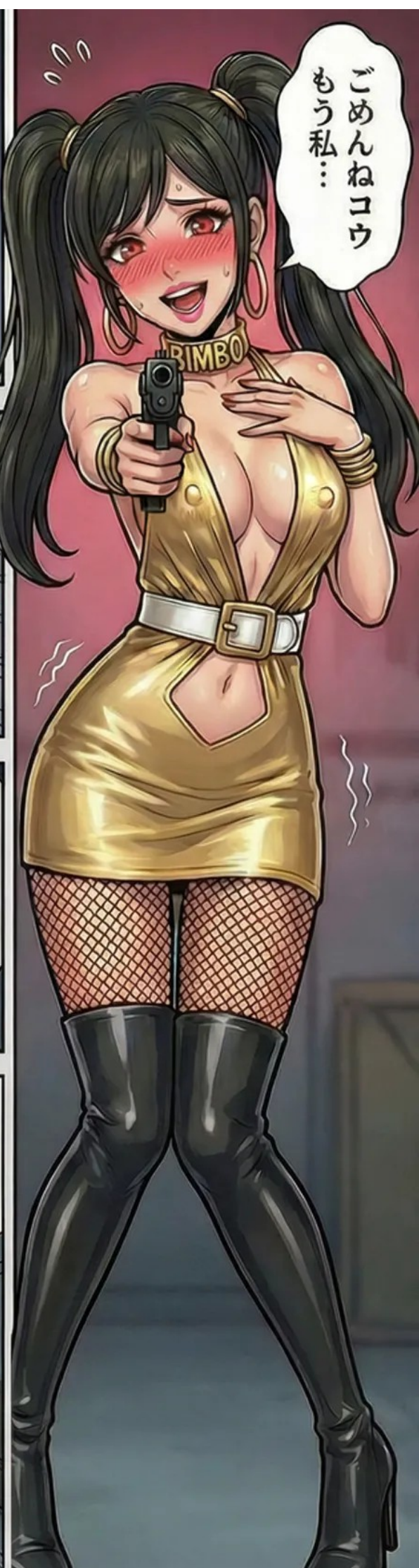
マリイ様…
わたしは…



違う！
おまえはミーナだ！
そんな奴の声を
聞いちゃダメだ！



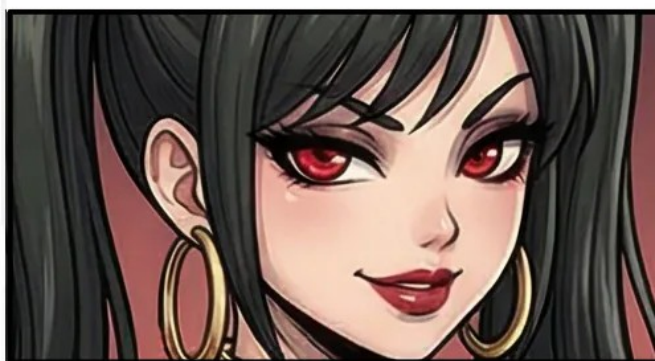










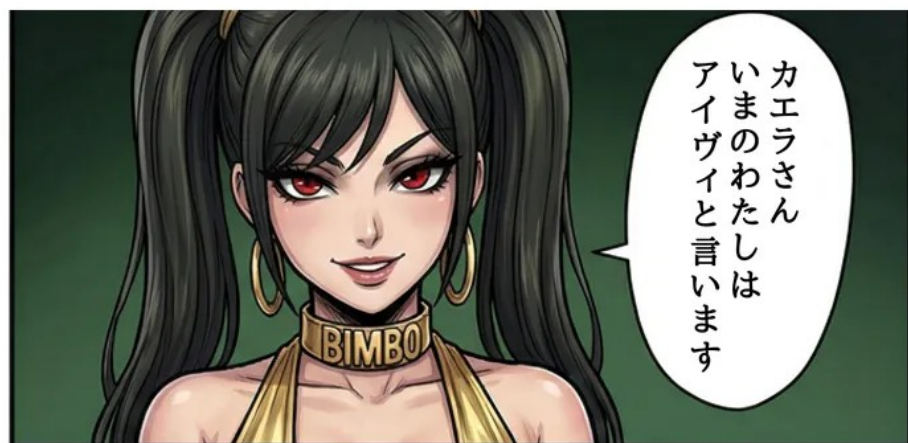




ルーラーズ本部



マリイも来たか



カエラさん
いまのわたしは
アイヴィと言います



あら
ミーナちゃんも
来たのね



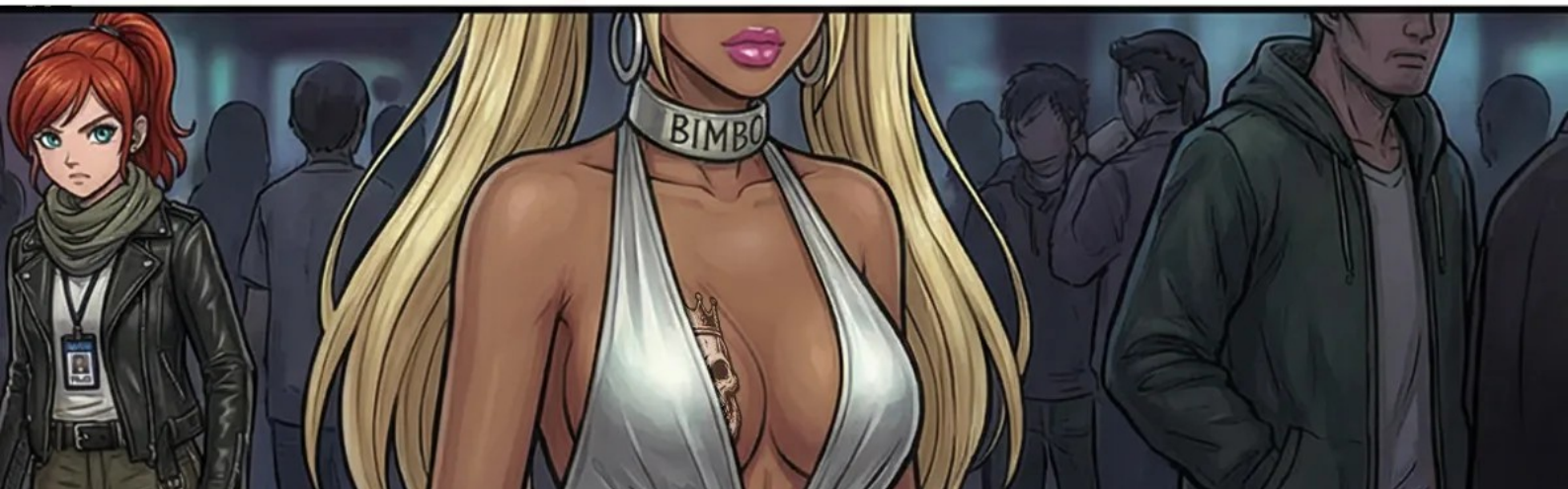
ニヤリ

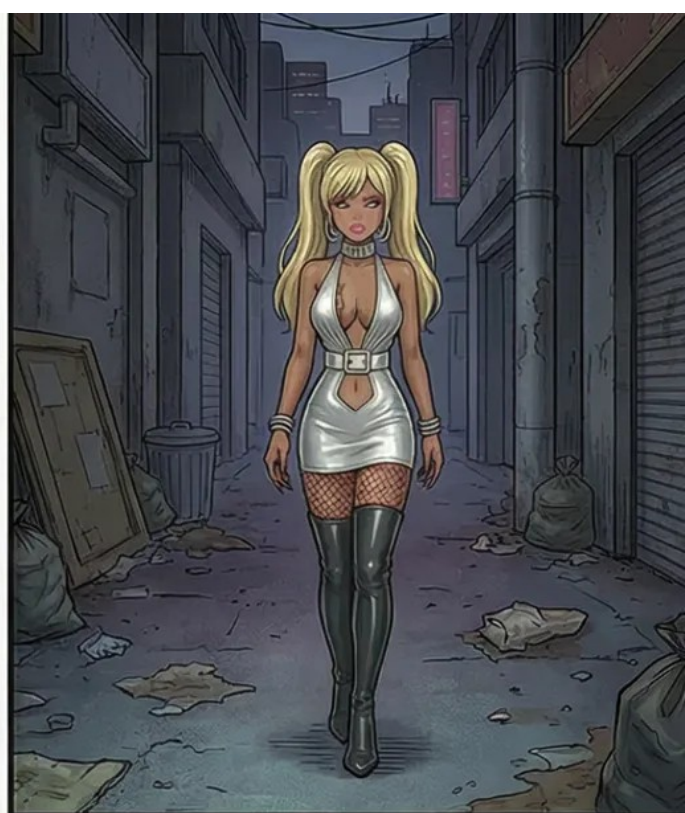
そう
よろしくねアイヴィ



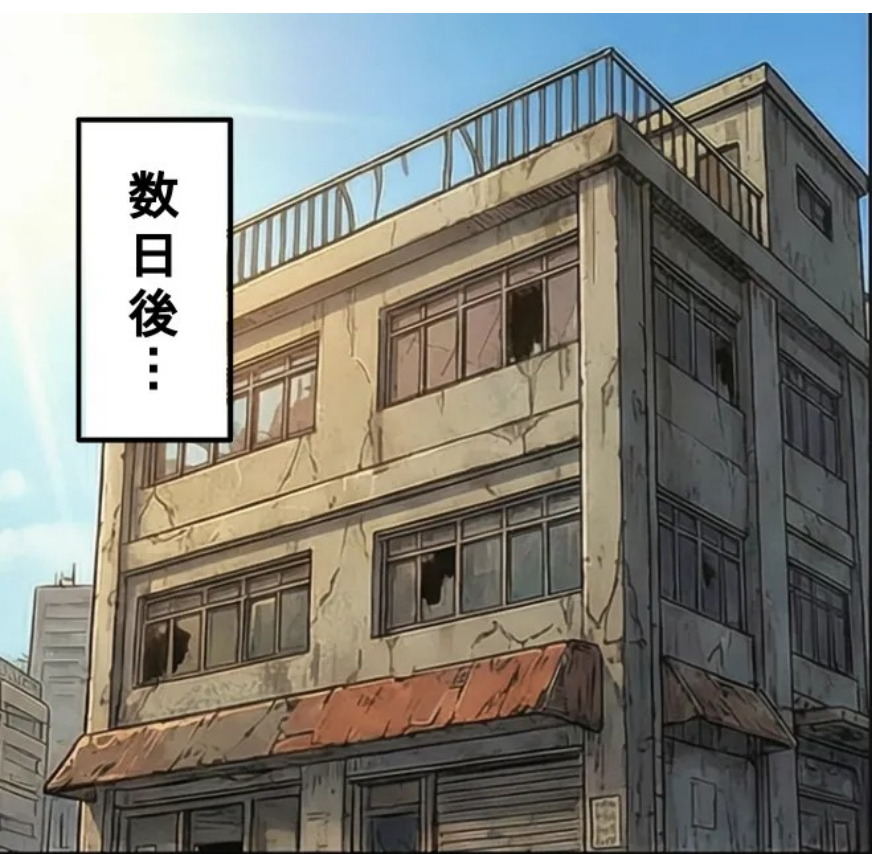


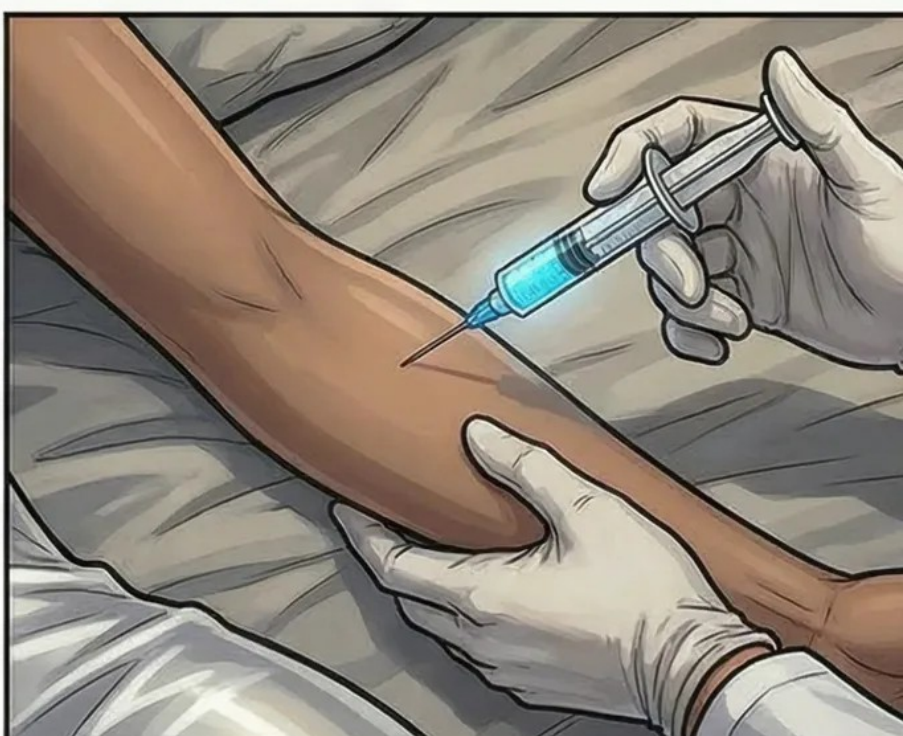






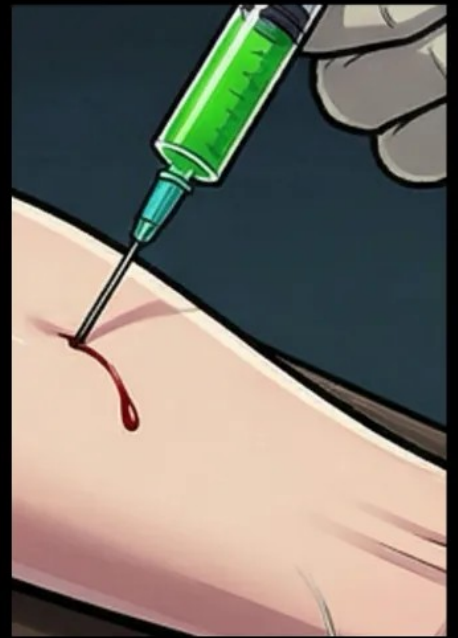
数日後…













フリーさん



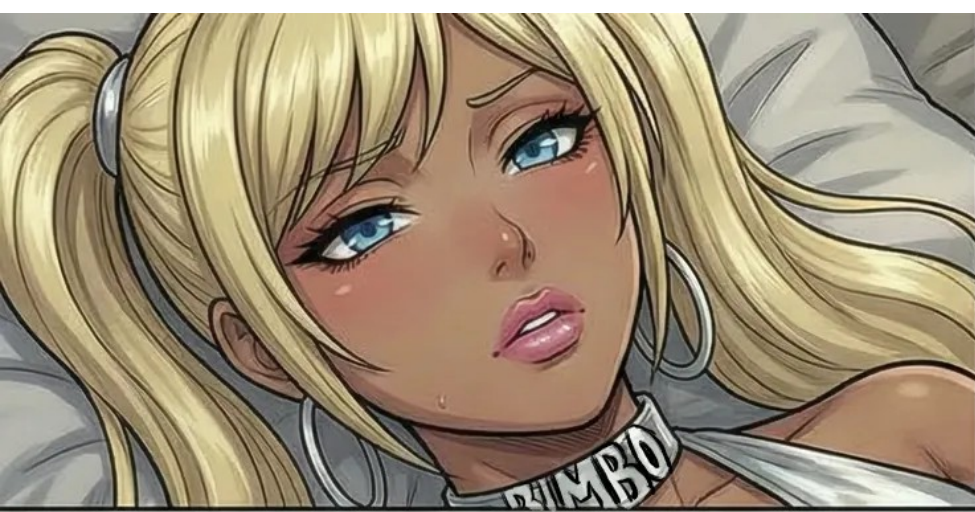


わたしはビビアン



フリーさん！





わたしは…



フリーさん！



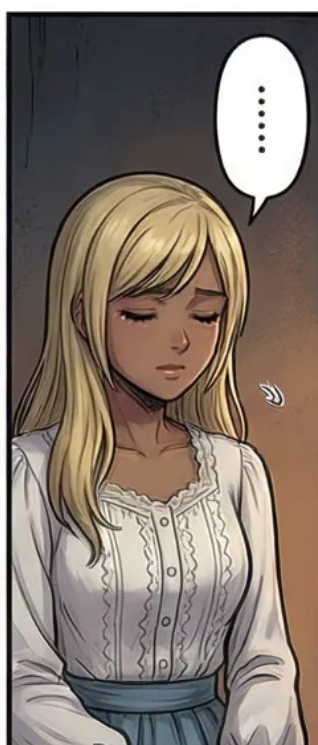
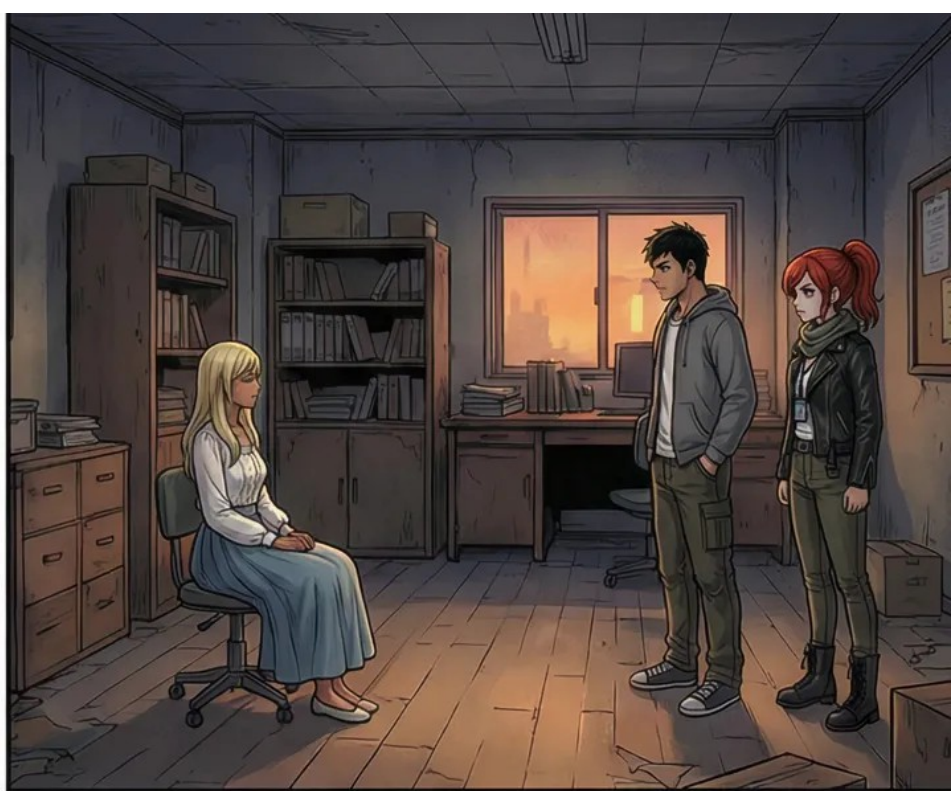
こっちは…

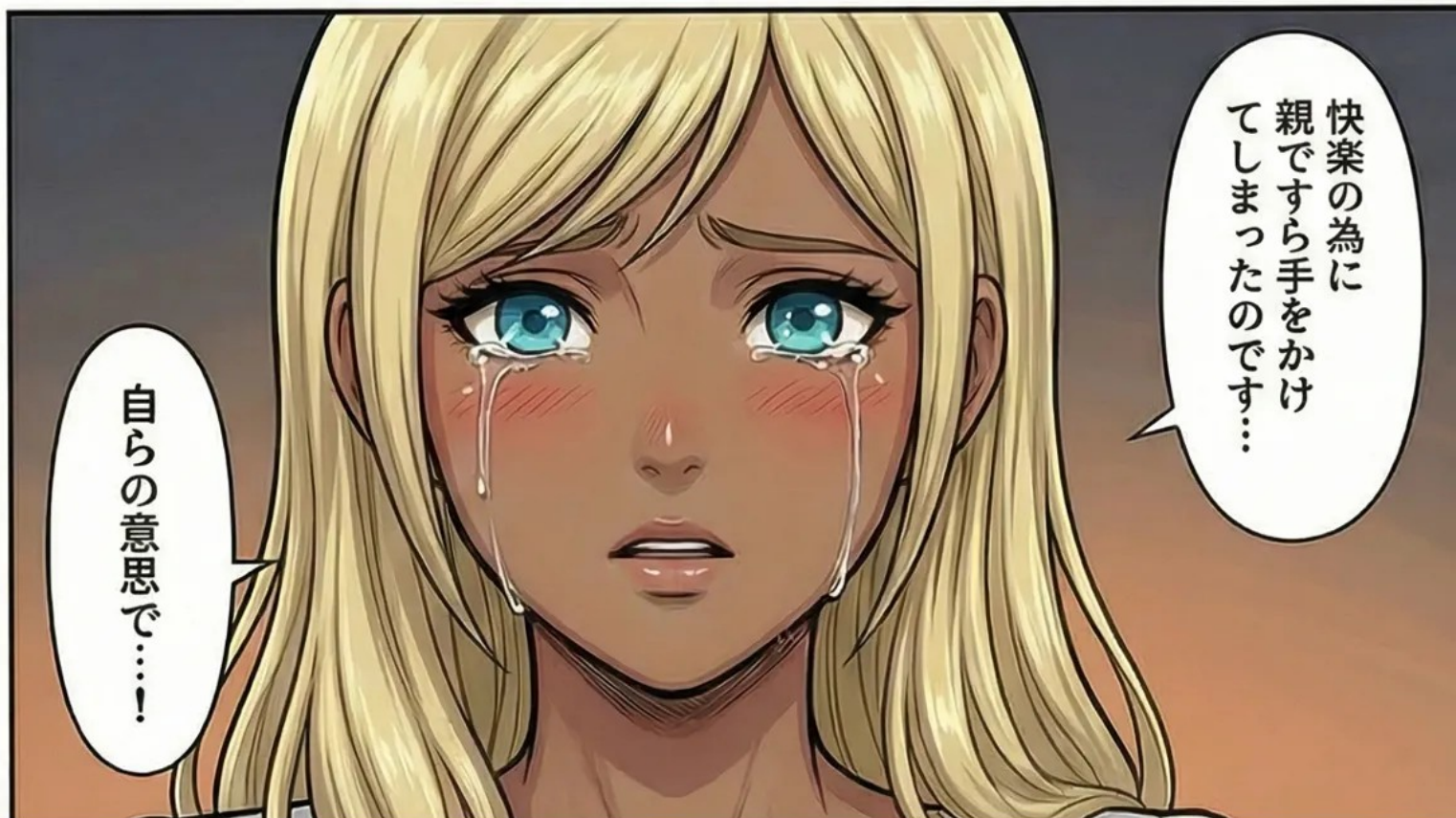


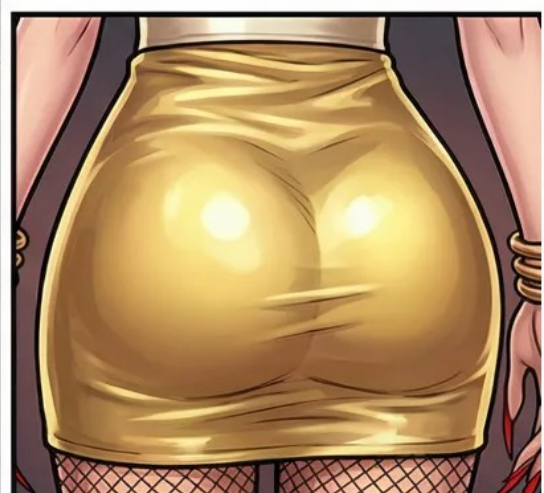
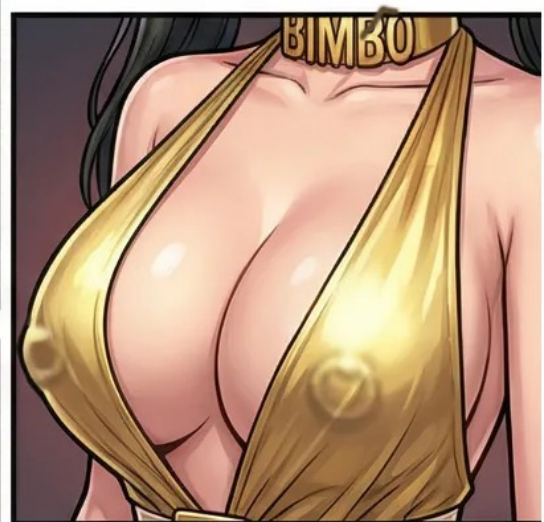
よかった！
意識が戻ったのね













ますます
素敵な身体に
なったわね
アイヴィ



はい
こんな素敵な世界が
あるなんて
知りませんでした



わたしは
ルーラーズの
アイヴィ

ふふっ
コウが今のわたしを
見たらどんな反応を
してくれるかしら

続く



コウ…お願い…
助けて…!!



『インモラルエクスタシー』を
もう一本打ってあげる
それくだらない
道徳観や倫理観は
すべて消え去るわ



あ…ああ…



か…身体が

熱い…
こ…こんなのっ…



どう
気分は？

うふふ
気持ちよさそうな
顔になっているわよ

そんなあなたに
良いものをあげるわ

そっ
それは……！





どうっ？
たまらない
でしょう？



あっ！

あんっ
あぁーっ!!



だっ…だめえっ！
こんなの…き…気持ち…
気持ちよすぎてっ
頭が…壊れるうっ!!

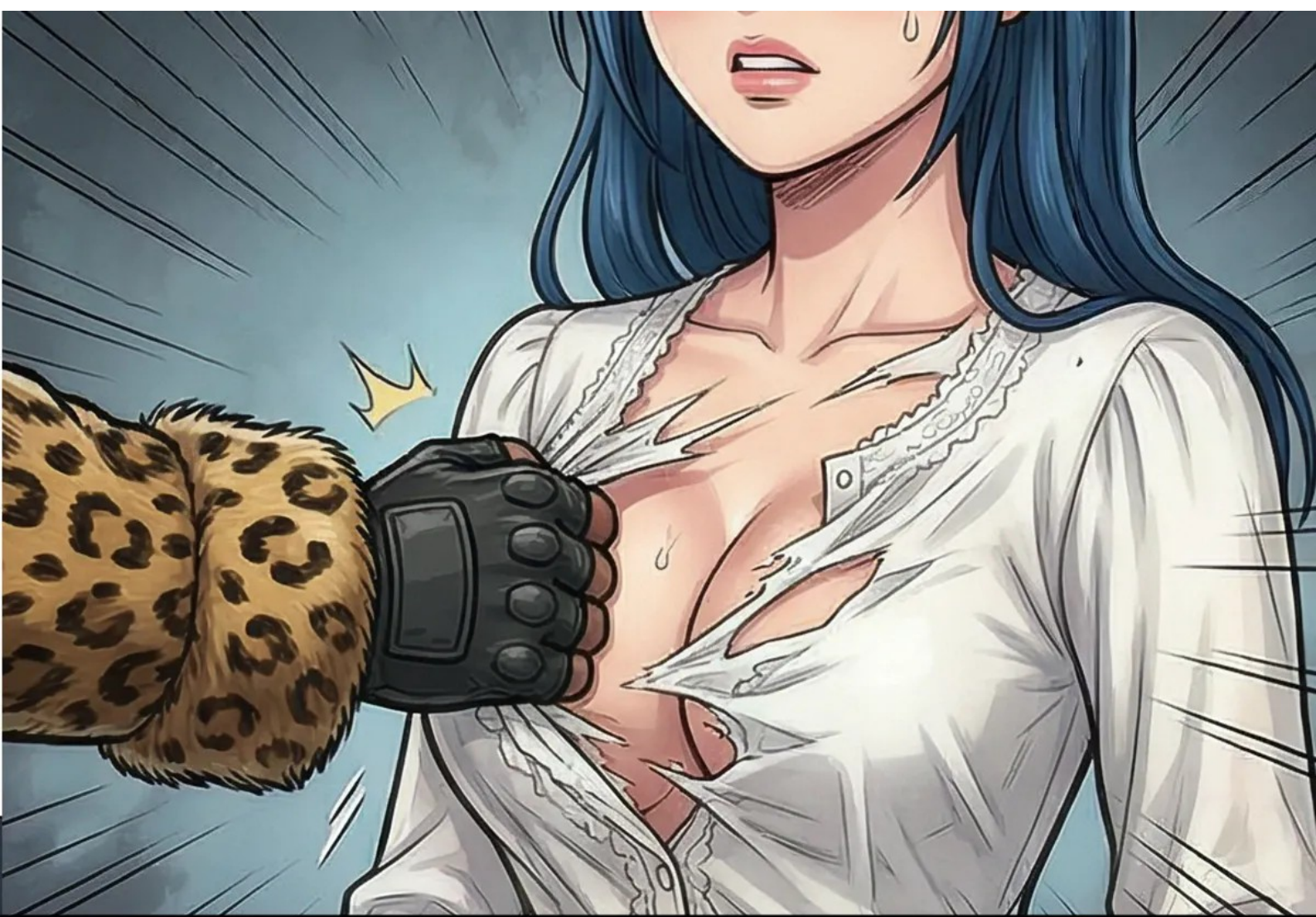
あーっ!!

あぁっ!
あぁんー!!

だっ…だめっ!
こんな快樂…す…
凄すぎる…!!
た耐えられない…
耐えられる訳が
ないんっ!!











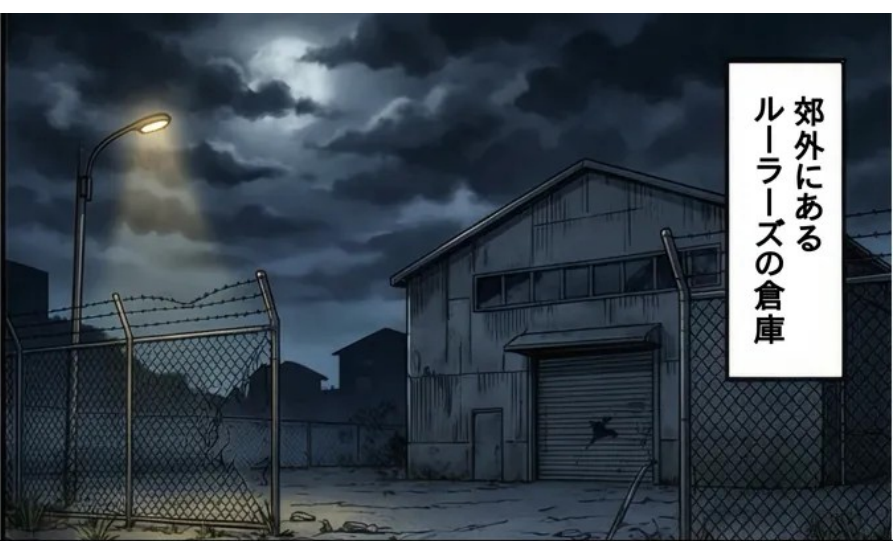
IMMORAL EXTACY

インモラル・エクスタシー 2.5





クスクス



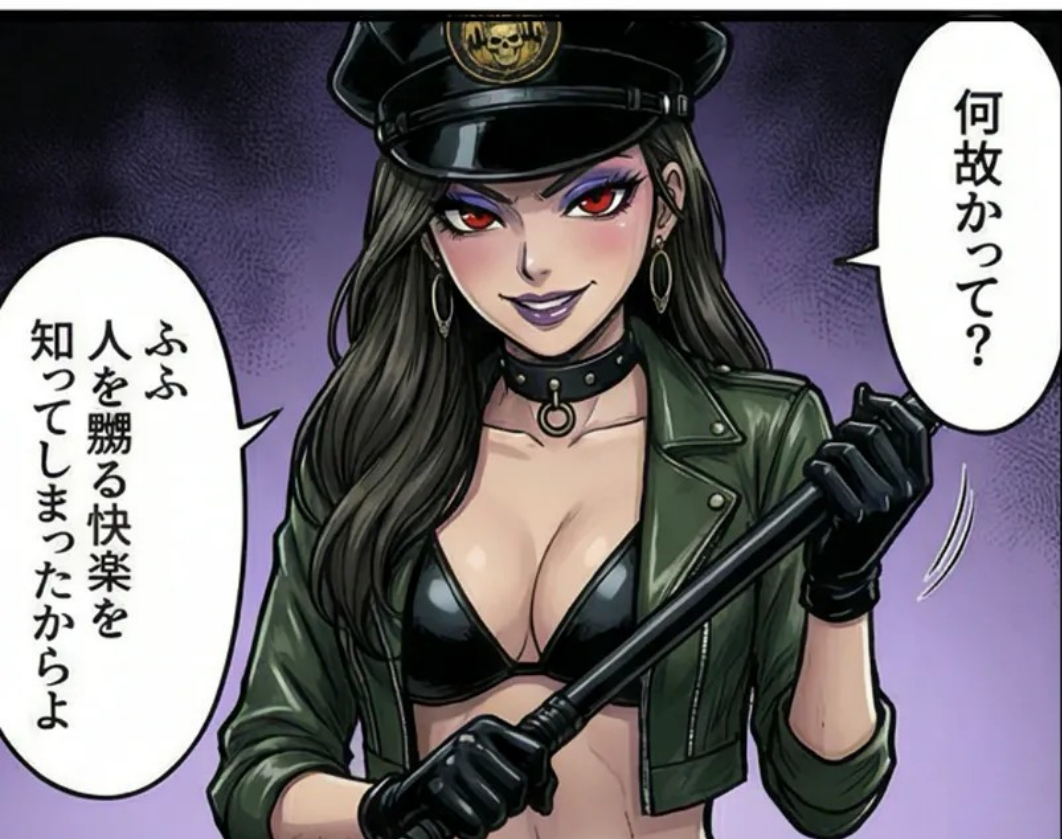
郊外にある
ルーラーズの倉庫



ぐはあ！



な
な
なぜだカエラさん
なぜあんたがこんな…！



何故かって？

ふふ
人を罵る快楽を
知ってしまったからよ



ぐっ…ああ…





あんっ!
ああんっ!

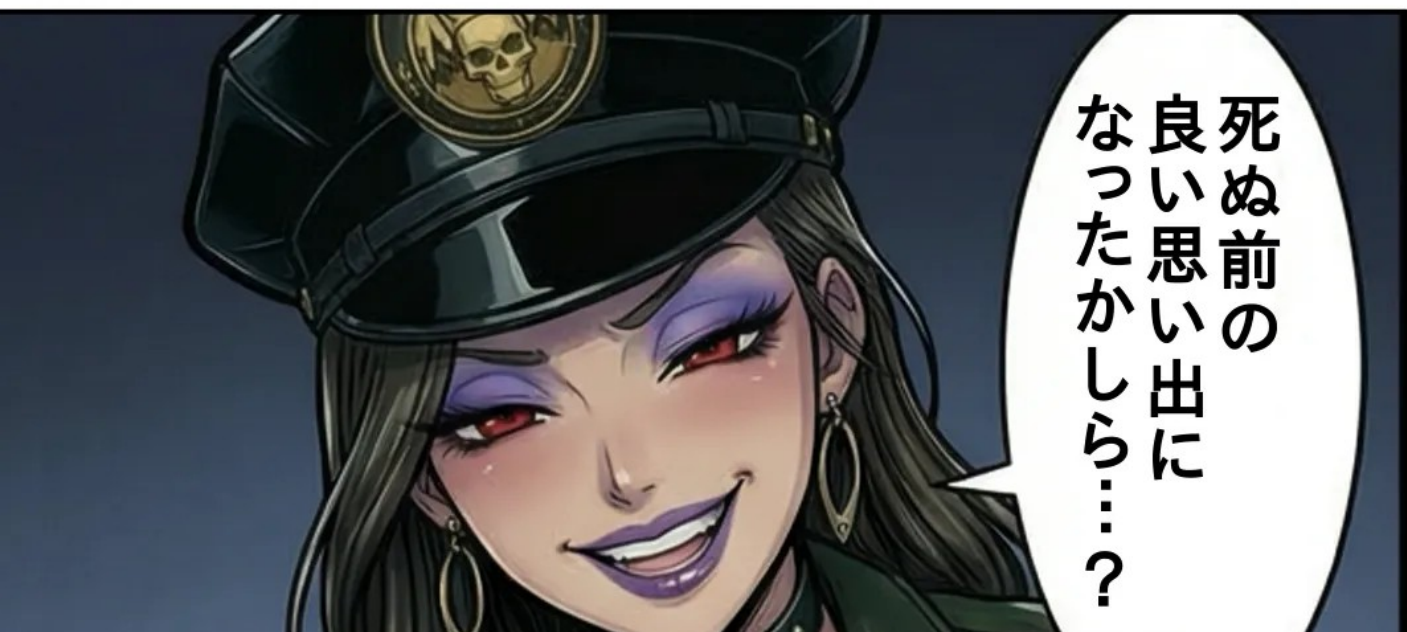
いっっ!

気持ちいい
——っ!!



うう...

も...
もう...





ほんとひ弱な
男ばかりで



おいおい
また殺しちゃったのか
カエラ?



くくっ
以前のお前からは
想像もつかねえ
セリフだな

カエラ
お前にうって
つけの仕事が
仕事があるぞ
捕らえた反ルーラーズ
のゴミ共を拷問して
奴らのアジトを
吐かせるのだ



すっかりルーラーズの
一員と化したカエラは

植え付けられた邪悪な
精神を携え今や
反ルーラーズにとって
恐怖の存在となっていた



素敵!

ぜひ私に
おまかせを

インモラル・エクスタシー3
に続く